

～大規模災害に備え、関係機関と連携した防災行動を確認・共有しました～

国土交通省松本砂防事務所では、地域の安全・安心確保のため管内の関係行政機関とともに土砂災害発生時に対し迅速な対応が行えるよう防災訓練を実施しています。令和4年度は小谷村において大規模な土砂災害が発生したと想定し、関係機関の連携などの対応について訓練を実施しました。

本訓練では、リモートによる関係機関との情報共有のほか、UAVによる現地映像をTeamsを用いてリアルタイムに情報共有を行いました。

日 時：令和4年10月5日（水）13:00～16:30

参加機関：小谷村、長野県、松本砂防事務所 他 計75名

※一部機関はリモートにて参加

メイン会場：中土観光交流センター「やまつばき」（長野県北安曇郡小谷村）

訓練方式：学習型訓練

災害想定：○大雨に起因する大規模土砂崩壊による河道閉塞

○村内各所での多数の斜面崩壊・地すべり等

訓練状況



メイン会場（全景）



メイン会場



サテライト

UAVを用いた現地映像の共有状況



UAV調査状況（現地）



Teams共有画面（メイン会場）

講評（小谷村長）

災害発生時、一番大切なのは人命。実際に災害が起きた際、関係機関と連携し迅速な対応ができるよう訓練を行っていくことが大切だと感じた。

小谷村長
中村義明氏

訓練総括

災害が起きた際には迅速な判断が求められる。経験を補う防災マニュアルの習熟や住民避難に繋がる情報の収集・発信力を高めていく必要があり、今後も訓練を実施することは重要。

今井一之氏
（国交省 前砂防部長）